

問題に対処するためにも、その解消を促進するなど、地域の実態を考慮して学校規模の適正化に努める必要がある。

第2項 教育内容・方法

(1) 教育目標

県内の小学校では、教育課程の改善の趣旨を踏まえ、教育目標の見直しを行ってきた。

各学校の教育目標を見ると、いずれも人間性豊かな児童の育成を志向している。これを昭和51年12月の教育課程審議会の答申で示された「人間性豊かな児童生徒の育成」に関する7つの項目に当てはめて見ると、「強じんな意志力を養い自律的な精神を育てる」「自ら考える力を養い創造的な知性と技能を育てる」など自己教育力の育成を志向するものや、「自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操を養う」「社会連帯意識や奉仕の精神に基づく実践的社会性を培う」など徳性のかん養を志向するものを掲げている学校が多く、「正しい勤労観を培う」「家族、郷土、祖国を愛するとともに、国際社会の中で信頼と尊敬を得る日本人を育成する」を掲げている学校は少ない(表2-2-5)。

また、教育目標の実践状況を見ると、教育目標の目指す児童像が具体的にとらえられるように教育目標の表現が改善されてきているが、教育目標が教師の日常の指導の中で十分生かされているとは言えない(図2-2-3)。

さらに、教育目標の達成状況の診断を指導訪問等を通して見ると、一般的には包括的で主観的な反省の集約にとどまっていることが多い。

したがって、今後は、教育目標の具現を図るため、教育諸計画に教育目標を十分反映させ、

表2-2-4 学級数別学校数

(単位:校)

年度	0~4	5~11	12~18	19~25	26~30	31~39	計
51	178	330	91	44	30	19	692
52	163	327	92	44	32	19	677
53	160	321	89	47	31	20	668
54	154	318	85	52	31	22	662
55	145	314	84	48	37	21	649
56	140	313	88	50	33	24	648
57	141	306	100	43	32	26	648
58	132	301	106	55	28	21	643

注: 1. 「学校統計要覧」(昭51~昭58)による。
2. 学校数は公立のみである。

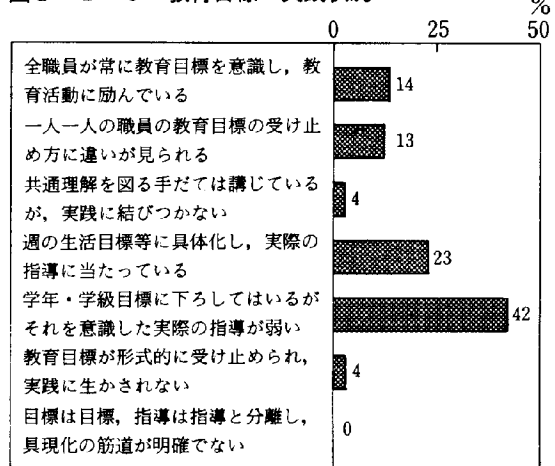
表2-2-5 教育目標の設定状況

(単位:%)

項目	割合
自ら考える力を養い、創造的な知性と技能を育てる	20.1
強じんな意志力を養い、自律的な精神を育てる	21.8
自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操を養う	20.1
正しい勤労観を培う	7.2
社会連帯意識や奉仕の精神に基づく実践的社会性を培う	14.7
健康でたくましい身体の鍛練に努める	12.2
家族、郷土、祖国を愛するとともに、国際社会の中で、信頼と尊敬を得る日本人を育成する	3.9

注: 1. 「県小学校長会研究大会資料」(昭57)による。
2. 割合 = (当該目標設定校数) ÷ (調査校数) × 100

図2-2-3 教育目標の実践状況



注: 1. 「県教育センター調査」(昭58)による。
2. 割合 = (当該項目校数) ÷ (調査校数) × 100